

平成30年度 矢板市林業成長産業化地域創出モデル事業 公開勉強会

林業の成長産業化に向けた市町村の森林環境譲与税の活用を考えるシンポジウム
～森林管理業務における法的知識の重要性～

2018年 7/20(金)

林業の成長産業化に向けた 市町村の森林環境譲与税の活用を考えるシンポジウム
～森林管理業務における法的知識の重要性～

会場 矢板市文化会館 小ホール

■プログラム

- ・ 話題提供
市町村に求められる森林管理体制
- ・ 基調講演
 - 豊田市森林課新設による一からの森林管理
 - 市町村による森林管理業務における法的知識の重要性
- ・ パネルディスカッション
□ 林業の成長産業化と「新しい森林管理システム」への期待
- ・ 質疑応答

■登壇者

- 基調講演・ディスカッションパネラー
弁護士 品川 尚子氏
- 基調講演・ディスカッションパネラー
豊田市産業部農林振興室森林課 森づくり担当長 深見 隆之助氏
- ディスカッションパネラー
株式会社トーセン 代表取締役 東泉 清寿氏
- 話題提供・ディスカッションコーディネーター
FOREST MEDIA WORKS株式会社 榎崎 達也氏

主催：矢板市林業・木材産業成長化推進協議会
共催：FOREST MEDIA WORKS株式会社

チラシ（表面）



講演会の様子 1



講演会の様子 2

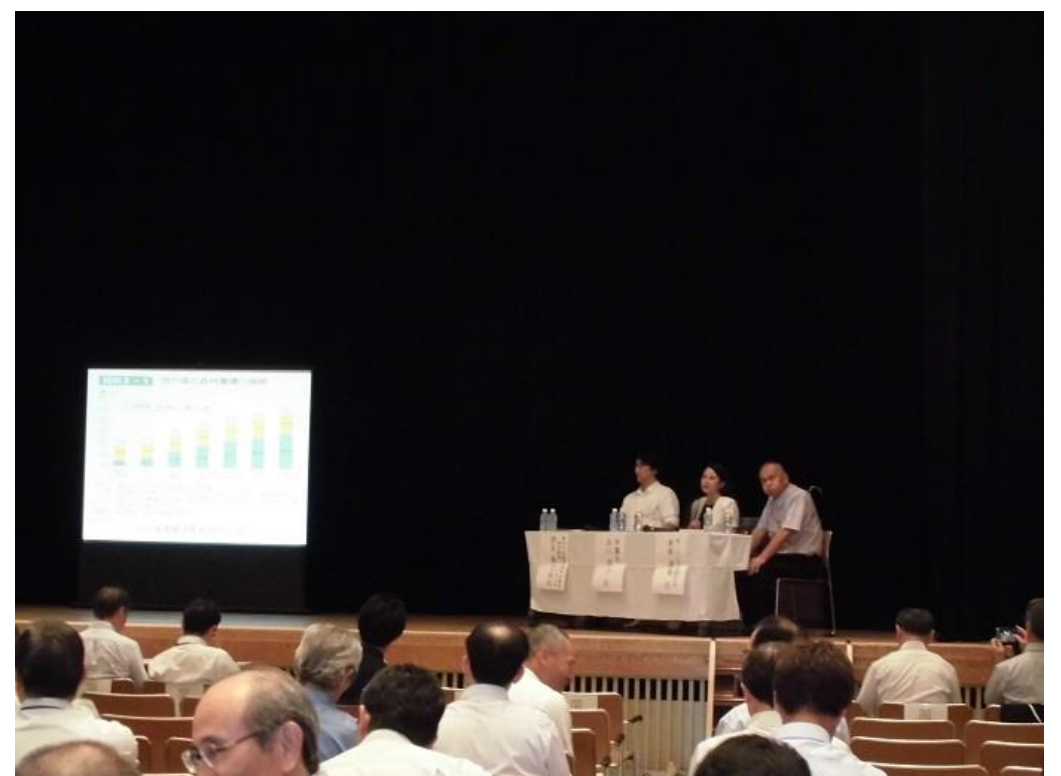
■日 時 平成30年7月20日(金) 13:30~17:00
開場：13:00 開演：13:30

■会 場 矢板市文化会館 小ホール（定員 200名）

■参 加 費 無料

<p>豊田市産業部農林振興室森林課 森づくり担当長 深見 隆之助氏</p> <p>豊田市に合併前の足助町出身。足助町役場に勤務。2006年の市町村合併に伴い、現在の豊田市役所勤務。合併と同時に市役所内に産業部森林課が設置され、一から森林課を立ち上げた責任者の職務。いくつかの部署を経て、現在、再び森林課職員として豊田市の森づくりのリーダーとして活躍している。</p>	<p>弁護士 品川 尚子氏</p> <p>早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。大学在学中交換留学生として米国に留学。日米言語学院同時通訳科卒業。某大手法律事務所渉外勤務。フリー通訳の後、平成19年弁護士登録（栃木県弁護士会）。平成28年4月より半導体大学農学部森林科学科で社会人学生として履修開始し、森林業分野での見聞を広めている。</p>
<p>FOREST MEDIA WORKS株式会社 榎崎 達也氏</p> <p>カナダ州立ニューブランズウィック大学森林工学部卒業。総合シンクタンク財団法人林業部、総合林業会社S社林業コンサル部門を経て独立。平成26、28年度版森林・林業白書のJCT事例として取り上げられたタブレットPCによる提案営業アプリ「スピリット・オブ・フォレスター」の設計。平成29年5月に長野で開催された国際ウッドフェア2017の総合プロデューサーを担当。</p>	<p>株式会社トーセン 東泉 清寿氏</p> <p>矢板市山田出身。矢板東高校卒業後、家業の株式会社トーセンに入社し、平成14年10月より同社代表取締役社長に就任。グループ全体で原木消費量約30万mを有する国産材トップの製材メーカーに育て上げる。直営・提携合わせて26工場を連携させた、「母船式木流システム」及び、関東一円の木材集積地を築いた「ウッドロード構想」を掲げ、外材に対抗できる品質・価格・安定供給を目指している。</p>

チラシ（裏面）



パネルディスカッションの様子